



山本清含さん

皆さんは「盆石」についてどれくらいご存知でしょうか？今回は日本古来の伝統芸術である盆石の世界で活躍する、華頂遠山流家元の幽真庵 山本清含さんをご紹介します。

盆石とは様々な種類の盆の上に自然石や白砂を用いて自然の風景を描くもので、約1400年前の飛鳥時代が起源といわれています。平安時代には貴族・僧侶のたしなみとして受け継がれ、旅の思い出などを詠んだ和歌の景色を盆上に再現しました。その後、江戸時代の徳川幕府の大政奉還以降に一般庶民へ広がり、現代へ継承されています。

京都出身の山本さんはお母さんの影響で盆石を始め、これまでフィンランド大使へ盆石の披露や、

東本願寺岡崎別院で個展の開催、各種展示会への出展など、様々な場で盆石の普及等を行ってきました。昭和40年には総本山醍醐寺の管長から、庵号(幽真庵)、雅号(清含)を授与されました。このことが、盆石を行ってきた中で最も名誉あることだそうです。

作品製作の様子を見せてもらおうと、水鳥の羽根を使って盆上に少しずつ白砂を置き、水の流れや山肌を表現する様子はとても繊細で、まさに匠の技を感じられます。「盆石の魅力は、侘・寂の世界に浸ることができ、小さい盆の中に心象風景を表現できることです」と山本さん。

かつては約30の流派がありましたが、現在は5流派ほどに減少し、盆石人口も減少しているそうです。「日本が誇る伝統芸術の盆石を1人でも多くの人に知ってもらえるよう活動していきたい」と今後の目標を明るく語ってくれました。



作品製作の様子



盆石道具



仲秋の名月



埼玉県子ども動物自然公園 動物ZOO鑑

～園長おすすめ コツメカワウソ～

やんちゃ坊主が生まれました

2017年8月号で、コツメカワウソ舎のオープンの記事を書きました。その時にフランスの動物園からやってきた雄がとてやんちゃで、放飼場の木々や草を食いちぎり、泥を掘りまくり、毎日何かを破壊している・・・というお話をしました。そのすぐあとに大阪の動物園からやってきた雌との相性が良く、繁殖も数回成功してくれました。そして今年の3月、世代も入れ変わり新たなペアが妊娠していると情報が入りました。

このペアは、両方も繁殖経験がありません。要するに出産も子育ても初めて。そして担当の飼育係もカワウソの繁殖に立ち会うのは初めて。初めて尽くしの2頭と一人を、私も緊張しながら見守っていました。動物は初めて出産を迎える時、生まれた赤ちゃんを認識できずに育児を放棄したり、赤ちゃんを殺してしまうことがあります。飼育係は動物へのストレスが最小限になるように環境を整え、どんな状況がおこっても対応できるように準備をします。

3月25日、巣箱の中で赤ちゃんが生まれた気配がありましたが、担当者はあえて巣箱をのぞかず、新しい寝床材(麻袋)をそっと用意し、鳴き声だけを頼りに見守り続けました。2週間後、親が落ち着いてきたので巣箱をのぞいたら小さな赤ちゃんが3頭寝ていたそうです。

ちゃんと育っている、ということがわかればまずは一安心。あとはスクスク大きくなって、目が開いて、歩き出して、水に慣れて、が順調に進めば展示場デビューです。生まれて2か月後、初めての雌雄判別が行われました。結果はなんと、ぜーんぶ雄。やんちゃ坊主が3頭です。「破壊王が3つも…」いえ、元気であればいいんです。

※8月号は植物ZOO鑑です。



お母さんのツクネ(左)とお父さんのロク(右)



はじめて確認した赤ちゃん3頭



まちかど スケッチ 青空の下でリフレッシュ



5月18日(土)、千年谷公園芝生広場で「Parkヨガ」が開催されました。晴れ渡った空の下、参加者は芝生の広場でゆったりとした時間の中、心と体をリフレッシュしました。参加者は「体の全てを意識してヨガを行ったので、睡眠の質もよくなりますね」と話していました。

シニアのための“ここプロ”フェスタin唐子



5月25日(土)、唐子市民活動センターで「シニアのための“ここプロ”フェスタin唐子」を開催し、官民連携でシニアの元気を応援するための情報を発信しました。

参加者は、講演会や認知症についてなどの出展ブースを回って説明を受けたり、ボールを投げるスポーツのポッチャなどを体験しながら、健康的に毎日過ごすための方法等を学んでいました。次回の“ここプロ”フェスタは、令和7年2月に野本市民活動センターでの開催を予定しています。



この広報紙にあなたが写っていましたら広報広聴課へご連絡ください。写真や写真データを差し上げます。

人口と世帯(6月1日現在)	
人口	91,027人 (+17)
男	45,706人 (+3)
女	45,321人 (+14)
出生(5月中)	38人 (+1)
死亡(5月中)	66人 (-32)
転入等(5月中)	319人 (-295)
転出等(5月中)	274人 (-131)
世帯数	43,334世帯 (+38)
*()は前月比	

交通事故発生件数(5月中)	
発生件数	316件※
人身事故	30件(死者:0人、けが人:39人)
物損事故	286件
※東松山警察署管内(東松山市、滑川町、川島町、吉見町)の件数	
火災と救急件数(5月中)	
火災件数	2件
救急件数	482件(交通:29件、急病:285件、その他:168件)
搬送人員	416人

市内の空間放射線量測定結果	
市内34か所で空間放射線量を定期的に測定しています。	
6月の測定においても、基準値を下回っています。	
測定結果の詳細については、市HPに掲載しています。	
環境政策課 ☎63-5006 ☒23-7700	

ジャガイモ・タマネギ大収穫!



5月25日(土)、市農林公園で「ジャガイモ・タマネギ収穫体験」が開催されました。

参加した子どもたちにカメラを向けると収穫したジャガイモ・タマネギを持ってにっこりとポーズ!「いっぱい採れたよ」とうれしそうに見せてくれました。



ホタルの光に癒やされて…



6月15日(土)、市農林公園近くの新屋敷ホタルの里と東谷ホタルの里で「ホタル観賞会」が開催されました。ここでは、明るく活発に飛翔するゲンジボタルと草むらで優しく発光するヘイケボタルが見られます。鑑賞会当日は約300人が参加し「あっちにも!こっちにも飛んでる!」と暗闇の中、優しく光るホタルを楽しそうに鑑賞していました。